NOKIA
5070

日本語取扱説明書

Japanese User's Guide

Nokia の携帯電話へようこそ

電源キー
- 長く押して電源を入れたり、切ったりします。
- 短く押すと、プロファイル（モード）が表示されます。

受話口

音量キー
- 受話口、スピーカー、または（携帯電話に接続した）ヘッドセットの音量を調整します。
- 音量アップキーを押すとプッシュトゥートークを起動できます。

通話キー
- 電話をかけたり、かかってきた電話に応答します。
- 待受モードの場合に押すと、前回かけた電話番号が表示されます。

留守番電話サービスキー
- 1∞を長く押すと留守番電話サービス（ネットワークサービス）を起動できます。

ソフト（選択）キー
- すぐ上に文字で表示された機能を実行します。
- 通話中に右ソフトキーを押すと、ハンズフリースピーカーを使用できます。

ラジオに接続
- ラジオをオンにするためのショートカットキーとして押します。

終了キー
- 通話を終了したり、応答を拒否したりします。また、使用中の機能を終了して、待受画面に戻る場合に押します。

4方向ナビゲーションキー

名前、電話番号、メニュー、設定を選択するのに使用します。また、文章の編集時、カーソルを移動したり、ハイライトするのに使用します。

便利な使い方：待受モードでナビゲーションキーを押すと、以下の機能をすぐに使用できます。
- 左方向：メッセージを入力
- 右方向：カレンダーを表示
- 上方向：カメラを起動
- 下方向：電話帳を表示

上記の画面は標準設定されているものではありません。

適合宣言

NOKIA CORPORATION は、本製品「RM-166」が Directive 1999/5/EC の必須要件および関連するその他の規定に準拠することを本書によって宣言します。適合宣言書のコピーは、http://www.nokia.com/phones/declaration_of_conformity/ にあります。

CE 434

交差した線が引いてある車輪付きのごみ箱マークは、欧州連合では製品の寿命が尽きたときに分別回収されることを意味しています。これは本製品だけでなく、このマークが付いているどのアクセサリ製品にも適用されます。これらの製品を自治体の無分別廃棄物として廃棄しないでください。詳細については、製品のエコ宣言、または www.nokia.com から各国固有の情報を参照してください。

© 2007 Nokia. All rights reserved.

Nokia、Nokia Connecting People、Pop-Port、Visual Radio は、Nokia Corporation の商標または登録商標です。Nokia tune は Nokia Corporation の商標です。本書に記載されている製品名、社名は、各所有者の商標、または商標名です。

本書を如何なる形式のものであっても、Nokia からの事前の書面による承諾を得ることなく、その内容の一部および全てを複製、譲渡、配布、保管することを禁じます。

本機は米国特許 No 5818437 を取得しており、また、その他の特許は出願中です。T9 テキスト入力ソフトウェアの著作権 © は Tegic Communications, Inc. が所有しています。（1997-2007 年）

本機は RSA BSAFE 暗号、または RSA Security のセキュリティプロトコルソフトウェアを使用しています。

Java™ およびすべての Java ベースの商標は、Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License (i) for personal and noncommercial use in connection with information which has been encoded in compliance with the MPEG-4 Visual Standard by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and (ii) for use in connection with MPEG-4 video provided by a licensed video provider. No license is granted or shall be implied for any other use. Additional information, including that related to promotional, internal, and commercial uses, may be obtained from MPEG LA, LLC. See <http://www.mpegla.com>.

本製品は、次の目的に関して、MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づくライセンス許可を得ています。(i) 消費者が個人的および非営利的活動において MPEG-4 Visual Standard に準拠して情報をエンコードする場合、それに関連する個人的および非営利的使用。(ii) ライセンス許可を得たビデオプロバイダによって提供された MPEG-4 ビデオに関連する使用。前述以外の使用のためには、黙示的なものも含め、いかなるライセンスも許諾されていません。宣伝、内部的、商業的な使用に関係する追加情報は、MPEG LA. LLC から入手できます。<http://www.mpegla.com> を参照してください。

Nokia は製品の改良を継続的に行っています。そのため、本書に記載された全ての製品の仕様は、事前の通知なしに変更または改良されることがあります。

適用法の許容する限り、状況の如何を問わず、Nokia またはそのいずれのライセンサーも、データまたは収益の喪失、またはいかなる特別損害、付随損害、派生損害、間接損害に対しても一切責任を負いません。

本書は、現状有姿のまま提供されるものです。準拠法により要求される場合を除き、Nokia は、本書の正確性、信用性に関連するいかなる明示的または黙示的保証も行いません。この保証には、商品性、および特定目的に対する適合性の黙示的な保証を含みますが、これに限定されません。Nokia は、事前の通知なく本書を変更する権利または取り消す権利を有します。

使用可能な製品およびこれらの製品向けのアプリケーションは、地域によって異なる場合があります。詳細および使用可能な言語オプションについては、最寄りの Nokia 代理店にお問い合わせください。

本機は、電気および電子機器での特定危険物の使用制限に関して、Directive 2002/95/EC に準拠します。

輸出規制

本機には、米国および他の国の輸出関連法令の適用対象となる商品、技術、またはソフトウェアが含まれています。法令に違反する輸出は禁じられています。

第 1 版

目次

安全上のご注意 vii
本機について viii
ネットワークサービス ix
共有メモリ ix

はじめに x
多彩な機能 x
アクセスコード x
セキュリティコード x
PIN コード x
PUK コード x
発着信規制パスワード x
Nokia のサポートと
連絡先情報 xi

1. お使いになる前に 1
SIM カードと電池パックを
取り付ける 1
電池を充電する 2
電源を入れる / 切る 3
アンテナ 3
リストストラップ 4

2. 各部の名称と機能 5
キーと各部の名称 5
待受モード 6
個人用ショートカットリスト 6
待受モードでの
ショートカット 6
省電力画面 6
待受画面で表示される
アイコン 7
キーパッドロック
（キーガード） 7

3. 通話機能 8
電話をかける 8
ワンタッチダイヤル 8
電話に応答する /
応答を拒否する 8
割込通話 9
通話中のオプション 9

4. 文字を入力する 10
設定 10
予測文字入力 10
複合語を入力する 11
通常文字入力 11

5. メニューの使い方 12

6. メッセージ 13
文字メッセージ（SMS） 13
SMS メッセージを作成して
送信する 14
SMS メッセージを読む /
返信する 14
テンプレート 15
メモリの不足 15
フォルダ 15
留守番電話サービス 16
メッセージを削除する 16

7. 連絡先 17
連絡先を検索する 17
名前と電話番号を保存する 17
電話番号、詳細情報、
または画像を保存する 17
連絡先をコピーする 18
連絡先の詳細情報を編集する 18
連絡先や連絡先の詳細を
削除する 18
設定 19
グループ 19
ワンタッチダイヤル 19
情報、サービス、
自分の電話番号 19

8. 発着信履歴 20
通話履歴 20
通話料金と通話時間 20

9. 設定 21
プロファイル（モード）..... 21
音の設定 21
マイショートカット 21
画面 22
日時の設定 22
発着信の設定 23
電話機の設定 23
セキュリティ 24
初期設定に戻す 25

10. ギャラリー 26

11. メディア 27
カメラ 27
写真を撮影する 27
ビデオクリップを録画する 27
ラジオ 27
ラジオ局を登録する 28
ラジオを聴く 28
レコーダー 29
録音する 29
録音リスト 29

12. オーガナイザー 30
アラーム 30
アラームを停止する 30
カレンダー 30
カレンダーノートを作成する 31
アラームの時刻になると 31
予定表 31
ノート 32
電卓 32
ストップウォッチ 32
カウントダウンタイマー 33

13. アクセサリ 34
充電器 34
Compact Charger（AC-3）..... 34
Travel Charger（AC-4）..... 34

14. 電池について 35
充電と放電 35

15. お手入れとメンテナンス 37

16. 安全についての追加情報 38
小さなお子様 38
操作環境 38
医療機器 38
ペースメーカー 38
補聴器 39
乗り物 39
爆発の危険がある場所 39
緊急通報 40
緊急電話番号に電話をかけるには 40
証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）..... 41

製造者による限定保証（日本国内でのみ有効です）.... 42

索引 45

安全上のご注意

次のガイドラインをお読みください。ここに記載されている注意事項をお守りいただくことで、危険な状態が生じる可能性や違法行為を未然に防ぐことができます。また、本書では更に詳しい説明も記載しています。

安全を確認して電源をお入れください

携帯電話の使用が禁止されている場合や、電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

交通安全を最優先に

ご使用になる地域のすべての法令に従ってください。運転中は、携帯電話を手に持たないでください。運転中は安全第一を心がけてください。

電波干渉

携帯電話は電波干渉に敏感で、電波干渉を受けると動作に影響が及ぶ場合があります。

病院では電源をお切りください

規則に従い、医療機器の近くでは電話機の電源をお切りください。

航空機内では電源をお切りください

規則に従い、航空機内では電話機の電源をお切りください。無線機器の使用は、機内で何らかの電波干渉を引き起こすことがあります。

給油時には電源をお切りください

ガソリンスタンドなど、燃料や化学薬品の近くでは携帯電話を使用しないでください。

爆発現場付近では携帯電話を使用しないでください

規則に従い、爆発処理が行われている現場では携帯電話を使用しないでください。

正しくご使用ください

製品に付属の取扱説明書に従い、電話機を通常の位置で使用し、不必要にアンテナ部分に触れないでください。

正規サービス

資格のあるサービススタッフ以外は、装置の取り付けや修理を行わないでください。

アクセサリと電池
指定のアクセサリや電池を使用してください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

水をかけないでください
本機は防水仕様ではありません。水気のあるところで使用しないでください。

データのバックアップ
重要なデータは、すべてバックアップ、またはメモを取るようにしてください。

他の機器への接続
本機を他の機器へ接続する場合、その製品に付属の取扱説明書に記載された安全上の注意をお読みください。また、本機に対応していない機器を接続しないでください。

緊急通報
本機の電源が入っており、サービスエリア内であることを確認します。終了キーを必要なだけ押して通話中の電話を終了する、または使用中のメニューを終了し、待受画面に戻します。
緊急通報の電話番号を入力し、通話キーを押します。電話がつながったら現在地を知らせて、指示があるまでは電話を切らないでください。

■本機について

本機は、EGSM 900/1800/1900 ネットワーク上での利用が認められています。これらのネットワークについての詳細は、ご契約されているサービスプロバイダにご確認ください。

本機を、すべての法律に従って正しくご使用ください。また、他人のプライバシーや正当な権利を尊重し、適切なご使用を心がけてください。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、転送はできないことがあります。

警告：アラーム以外の本機のあらゆる機能を使うためには、電源を入れる必要があります。電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。

■ ネットワークサービス

本機を利用するにあたって、サービスプロバイダのサービスが必要となります。本機の機能のほとんどがネットワーク側の機能に依存しています。これらのネットワークサービスは、すべてのネットワークで利用できるとは限りません。また、ネットワークサービスをご利用になる前に、ご契約されているサービスプロバイダのサービスに加入するなどの手続きが必要になる場合があります。ご契約されているサービスプロバイダから、サービスをご利用する際の追加の指示や、課金についての説明が必要になる場合があります。一部のネットワークでは、ネットワークサービスの利用に制限がある場合があります。ネットワークによっては、各言語特有の文字やサービスをすべてサポートできない場合があります。

ご契約されているサービスプロバイダが、本機の一部の機能を停止、または無効にしている場合があります。その場合は、それらの機能が本機のメニューに表示されません。また本機は、メニュー名、メニューの順序、およびアイコンの変更など、特別な設定が行われている可能性があります。詳細については、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

本機は、TCP/IP プロトコルを基盤とした WAP 2.0 プロトコル（HTTP と SSL）に対応しています。本機の SMS、MMS、オーディオメッセージ、インスタントメッセージサービス、E-mail、プレゼンスサービス、モバイルインターネットサービス、コンテンツおよびアプリケーションのダウンロード、リモートインターネットサーバとの同期などの機能には、このような技術に対応したネットワークが必要になります。

■ 共有メモリ

本機では、次の機能でメモリが共有されます。連絡先、SMS、MMS（添付ファイルなし）、オーディオメッセージ、インスタントメッセージ、グループ、ボイスダイヤル、カレンダー、および、To-do ノート、「Gallery」に保存されるファイル、MMS の添付ファイル、E-mail、および Java™ アプリケーション。これらの機能を 1 つ以上使用すると、それ以外のメモリ共有機能で使用可能なメモリが減ることがあります。共有メモリ機能を使用しようとすると、メモリがいっぱいであることを示すメッセージが表示されることがあります。この場合、共有メモリ機能に保存されている情報や項目をいくつか削除した後、作業を続けます。

はじめに

■多彩な機能

本機は、カレンダー、時計、アラーム、ラジオ、カメラなど、日常的に使用できるさまざまな機能を搭載しています。

■アクセスコード

セキュリティコード

セキュリティコード（5～10桁）は本機を不正使用から保護するためのものです。お買い上げの際には「12345」に設定されています。セキュリティコードを変更したり、セキュリティコードの入力が必要になるよう設定する場合は、「セキュリティ」（P.24）を参照してください。

PINコード

PINコード（Personal Identification Number）とUPINコード（Universal Personal Identification Number）（4～8桁）は、SIMカードの不正使用を防止するためのものです「セキュリティ」（P. 24）を参照してください。

一部の機能を利用する際に必要になるPIN 2コード（4～8桁）は、通常、SIMカードの購入時に提供されます。

PUKコード

ブロックされたPINコードやUPINコードを変更するには、PUKコード（personal unblocking key）やUPUKコード（universal personal unblocking key）（8桁）がそれぞれ必要です。ブロックされたPIN 2コードを変更するには、PUK 2コード（8桁）が必要です。これらのコードがSIMカードの購入時に提供されていない場合は、購入先のサービスプロバイダにお問い合わせください。

発着信規制パスワード

発着信規制パスワード（4桁）は*Call barring service*を利用する際に必要です。「セキュリティ」（P. 24）を参照してください。

■ Nokia のサポートと連絡先情報

この取扱説明書の最新バージョンや追加情報、ダウンロード、お持ちの Nokia 製品に関連するサービスについては、www.nokia.co.jp/5070/support またはお住まいの国の Nokia Web サイトを確認してください。

その他のサポートについては、www.nokia.co.jp/contactus を参照してください。

1. お使いになる前に

■ SIM カードと電池パックを取り付ける

電池を取り外す際には、常に本機の電源を切り、充電器を外した状態で行ってください。

SIM カードは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

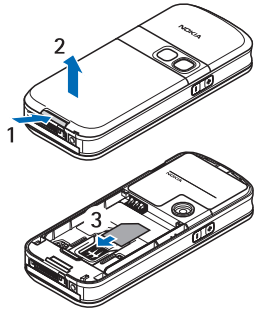
SIM カードサービスのご利用に関する情報は、SIM カードの取扱業者までお問い合わせください。取扱業者にはサービスプロバイダなどがあります。

本機には BL-5B の電池パックを使用してください。

SIM カードをこすったり折り曲げると、カードや登録されている連絡先情報が破損することがありますので、カードの挿入や取り外しなど取り扱いに注意してください。

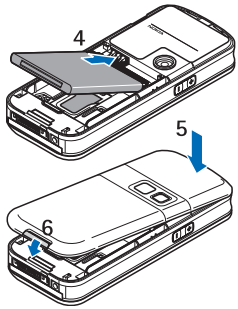
電話機のバックカバーを外すには、解除ボタン（1）を押して、バックカバーを持ち上げます（2）。

カードの IC 面が下を向いていることを確認して、SIM カードを SIM カードホルダーにカチッと音がするまで差し込みます（3）。



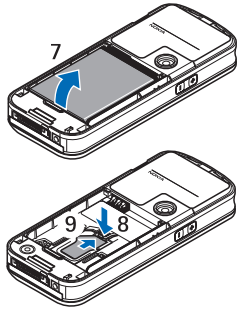
電池パックを挿入します（4）。電池パックが正しく接触していることを確認してください。必ず、Nokia 純正の電池パックをご使用ください。

バックカバーの上部と本体の上部を合わせ（5）、バックカバーの下部を押して固定します（6）。



電池パックを取り外すには、格納部から電池パックの下部を持ち上げます（7）。

SIM カードを取り外すには、SIM カードの解除ボタン（8）を押して、SIM カードを本体の上部方向へスライドさせます（9）。



■電池を充電する

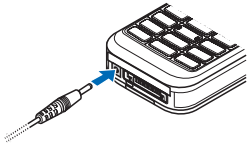
警告：本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

充電器をご使用になる前に、充電器の型番を確認します。本機は、AC-4、DC-4 充電器に対応しています。また、CA-44 充電器アダプタ使用時は、LCH-12 充電器に対応しています。

認定アクセサリの在庫状況については、製品お買い上げ店までお問い合わせください。

アクセサリの電源コードを外す際には、コードではなくプラグを持って抜いてください。

1. 充電器を壁のコンセントに接続します。



2. 充電器のコネクタを本体底辺のソケットに接続します。

電池の残量がまったくない状態で充電すると、充電中であることを示すアイコンが表示されるまでに、または電話の発着信ができる状態になるまでに数分かかります。

充電時間は、使用する充電器と電池パックにより異なります。たとえば、待受モードの状態で AC-3 充電器を使って BL-5B 電池パックを充電すると、約 1 時間 10 分かかります。

■電源を入れる / 切る

警告：携帯電話の使用が禁止されている場合や､電波干渉、または危険な状態を引き起こす可能性がある場合は、電話機の電源を入れないでください。

電話機の電源を入れるには、電源キーを長く押します。
PIN コードまたは UPIN コードの入力を要求された場合は、コードを入力し、[OK] を選択します（入力したコードは「****」で表示されます）。

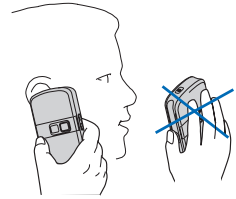
電話機の電源を切るには、電源キーを長く押します。

時刻、タイムゾーン、日付の設定

現地時間を入力して、グリニッジ標準時（GMT）に対する時差で現地のタイムゾーンを選択し、日付を入力します。「日時の設定」（P. 22）を参照してください。

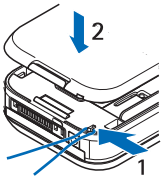
■アンテナ

本機にはアンテナが内蔵されています。



注意：他の無線転送機器と同様、アンテナの使用中には不必要にアンテナに触れないでください。たとえば、通話中には本機のアンテナに触れないようにしてください。アンテナに触れると無線通信の品質に影響を及ぼし、通常よりも多くの電力が消費され、電池の消耗が早くなる場合があります。

■リストストラップ

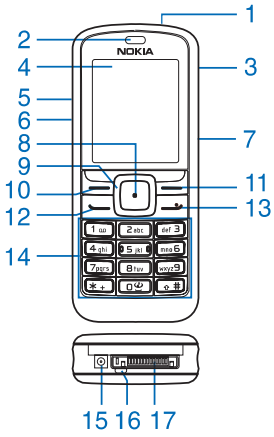


電話機の下部にリストストラップを取り付けるには、バックカバーを開きます。

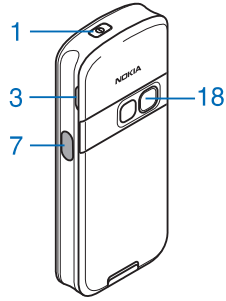
図に示すように、フック（1）にストラップをかけます。ストラップをしっかり固定し、バックカバー（2）を閉じます。

2. 各部の名称と機能

■キーと各部の名称

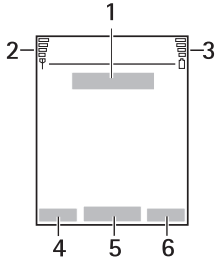


- 電源キー（1）
- 受話口（2）
- スピーカー（3）
- ディスプレイ（4）
- 音量アップと
  プッシュトゥートーク（PTT）
  キー（5）
- 音量ダウンと
  ボイスダイヤルキー（6）
- 赤外線（IR）ポート（7）
- 決定キー（8）
- 4方向ナビゲーションキー
  （9）
- 左選択キー（10）
- 右選択キー（11）
- 通話キー（12）
- 終了キー（13）
- キーパッド（地域によって異なります）（14）
- 充電器のコネクタ（15）
- マイク（16）
- Pop-Port™ コネクタ（17）
- カメラレンズ（18）



警告：本機のナビゲーションキー（9）には、ニッケルが含まれている可能性があります。ナビゲーションキー（9）は、長時間肌に接触することを意図して設計されているわけではありません。肌に継続的にニッケルを当てると、ニッケルアレルギーを起こす可能性があります。

■待受モード



本機が使用できる状態で、画面に文字や数字が何も入力されていない状態のことを待受モードといいます。

1 ネットワーク名か、通信事業者のロゴ

2 現在の場所での電波の強さ

3 電池の残量

4 左選択キー（[Go to]）

5 決定キー（[Menu]）

6 右選択キー（[Radio]）

個人用ショートカットリスト

左選択キーは [Go to] です。個人用ショートカットリストにある機能を表示するには [Go to] を選択します。特定の機能を選択すると、その機能が有効になります。

使用可能な機能のリストを表示するには、[Go to]、[Options]、「*Select options*」の順に選択します。機能をショートカットリストに追加するには [Mark] を選択します。リストから機能を削除するには [Unmark] を選択します。

個人用ショートカットリストにある機能を並べ替えるには、[Go to]、[Options]、「*Organise*」の順に選択します。次に、並べ替える機能と [Move] を選択してから機能の移動先を選択します。

待受モードでのショートカット

- 以前にダイヤルした番号のリストを表示するには、通話キーを一度だけ押します。電話をかける番号または名前にスクロールして、通話キーを押します。
- 留守番電話サービスを呼び出すには「**1**」を長く押します。

省電力画面

待受画面で何も操作せずに一定の時間が経過すると、電池を節約するためにデジタル時計が表示されます。省電力を有効にするには、「画面」の「*Power saver*」（P. 22）を参照してください。省電力を無効にするには、キーをどれか押します。

待受画面で表示されるアイコン

未読のメッセージがあると表示されます。

不在着信があったときに表示されます。「発着信履歴」（P. 20）を参照してください。

キーパッドがロックされています。「キーパッドロック（キーガード）」（P.7）を参照してください。

「*Incoming call alert*」と「*Message alert tone*」が「*Off*」に設定されている場合、着信音やSMSの受信音は鳴りません。「音の設定」（P. 21）を参照してください。

アラームが「*On*」に設定されているときに表示されます。「アラーム」（P. 30）を参照してください。

■ キーパッドロック（キーガード）

誤ってキー押してしまうのを防ぐには、[Menu] を選択し、約 3.5 秒以内に「*」を押してキーパッドをロックします。

キーパッドのロックを解除するには、[Unlock] を選択して、1.5 秒以内に「*」を押します。「*Security keyguard*」が「*On*」に設定されている場合は、セキュリティコードを入力します（要求された場合）。

キーガードがオンの状態で電話に応答するには、通話キーを押します。通話が終わるか、通話を拒否すると、キーパッドは自動的にロックされます。

「*Automatic keyguard*」および「*Security keyguard*」については、「電話機の設定」（P. 23）を参照してください。

キーガードがオンになっている場合でも、本機にプログラムされている公的な緊急電話番号には通話が可能な場合があります。

3. 通話機能

■電話をかける

1. 電話番号を市外局番から入力します。

   国際電話をかける場合は「*」を2回押して国際電話の接頭番号を入力します（「+」記号が国際電話のアクセスコードです）。次に国番号、市外局番（必要に応じてはじめの「0」を省く）、電話番号の順に入力します。
2. 通話キーを押して、電話をかけます。
3. 通話を終了するか取り消すには、終了キーを押します。

登録してある名前、電話番号から電話をかける場合は、「*Contacts*」から連絡先か電話番号を探します。「連絡先を検索する」（P. 17）を参照してください。通話キーを押してその番号に電話をかけます。

以前にダイヤルした番号を最大20まで表示するには、待受モードで通話キーを一度だけ押します。電話をかける番号または名前を選択し、通話キーを押して電話をかけます。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキー「**2**」～「**9**」に電話番号を登録します。「ワンタッチダイヤル」（P. 19）を参照してください。次のいずれかの方法で電話をかけます。

- 電話番号を登録したワンタッチダイヤルキーを押して、通話キーを押します。
- 「*Speed dialling*」の設定が「*On*」になっている場合は、該当のワンタッチダイヤルキーを電話がかかるまで押し続けます。「発着信の設定」の「*Speed dialling*」（P. 23）を参照してください。

■電話に応答する / 応答を拒否する

電話に応答するには、通話キーを押します。通話中の電話を終了するには、終了キーを押します。

着信を拒否するには、終了キーを押します。

着信音を消音にするには、[Silence]を選択します。

ヒント:着信した電話を転送するために「*Divert if busy*」機能が有効になっている場合（たとえば、留守番電話サービスセンターに転送する）、着信拒否も電話を転送します。「発着信の設定」（P. 23）を参照してください。

ヘッドセットが電話に接続されている場合、ヘッドセットキーを押すことにより、電話に応答したり、通話を終了することができます。

割込通話

通話中に別の電話がかかってきたら、通話キーを押して応答します。最初の通話は保留になります。通話中の電話を終了するには、終了キーを押します。

「*Call waiting*」機能を開始するには、「発着信の設定」（P. 23）を参照してください。

■通話中のオプション

警告：スピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

通話中に使用できるオプションの多くはネットワークサービスです。サービスの有無については、携帯電話事業者またはサービスプロバイダにお問い合わせください。

通話中に [Options] を選択してから次のオプションを選択します。

通話オプションは、「*Mute*」または「*Unmute*」、「*Contacts*」、「*Menu*」、「*Auto volume on*」、または「*Auto volume off*」、「*Record*」、「*Lock keypad*」、「*Loudspeaker*」、「*Handset*」です。

ネットワークサービスオプションには、「*Answer*」および「*Reject*」、「*Hold*」または「*Unhold*」、「*New call*」、「*Add to conference*」、「*End call*」、「*End all calls*」のほか、次のものがあります。

「*Send DTMF*」は、パスワードや銀行の口座番号などをプッシュトーンとして送信するときに選択します。

「*Swap*」は、通話中の電話と保留中の電話を切り替えます。

「*Transfer*」は、保留中の電話を通話中の電話に接続し、自分自身は電話を切ります。

「*Conference*」は、電話会議を行います。会議には最大 5 人が参加できます。

「*Private call*」は、電話会議の中で特定の参加者とだけ通話します。

4. 文字を入力する

文字の入力方法には、「通常文字入力」と「予測文字入力」があります。通常文字入力を使用する場合は、必要な文字が現れるまで数字キー **1** ～ **9** を繰り返し押します。予測文字入力では1回のキー操作で文字を入力できます。

文字の入力時に予測文字入力を使用している場合は が、通常文字入力を使用している場合は がそれぞれ画面左上に表示されます。アイコンの後には、文字入力モードとして Abc 、abc 、または ABC が表示されます。

文字入力モードを切り替えるには「**#**」を短く押します。文字入力方法を切り替えるには「**#**」を長く押し [*Dictionary on*] または [*Dictionary off*] を選択します。123 は数字モードを表します。文字モードを数字モードに切り替えるには「**#**」を長く押してから「*Number mode*」を選択します。特殊文字を入力するには、「*****」を長く押します。

■ 設定

入力言語を設定するには、[Options]、「*Writing language*」の順に選択してから必要な言語を選択します。予測文字入力が使用できるのは、そこに表示される言語の場合だけです。

[Options]、[*Prediction on*] の順に選択して予測文字入力を設定するか、[*Prediction off*] を選択して通常文字入力を設定します。

■ 予測文字入力

予測文字入力では、本機に内蔵されている辞書を使用します。辞書には新しく単語を登録することができます。

1. 「**2**」から「**9**」のキーを使って単語の入力を開始します。1文字につき、該当するキーを1回だけ押してください。押すたびに単語が変化します。
2. 入力したい単語が表示されたら、それを確定するために、「**0**」を押してスペースを追加するか、任意の方向にスクロールします。ナビゲーションキーを押すと、カーソルが移動します。

   単語が正しくない場合は、「*****」を繰り返し押すか、[Options] を押して「*Matches*」を選択します。正しい単語を選び、[Use] を選択します。

   単語の後に「?」が表示されている場合は、入力したい単語が辞書にないことを意味します。単語を辞書に登録するには、[Spell] を選択します。通常文字入力を使って単語を入力してから [Save] を選択します。

   ピリオドを入力するには、「**1**」を押します。
3. 次の単語を入力します。

複合語を入力する

単語の最初の部分を入力し、右方向にスクロールして単語を確定します。最後の部分を入力し単語を確定します。

■通常文字入力

必要な文字が入力されるまで数字キー**1** ～ **9**を繰り返し押します。数字キーには、そのキーで使用できるすべての文字が刻印されているとは限りません。使用できる文字は､入力言語により異なります。「設定」（P.10）を参照してください。

次に入力したい文字が同じキー上にある場合は、カーソルが表示されるまで待つか、ナビゲーションキーをどれか押してから文字を入力します。

ほとんどの一般的な句読点や特殊文字は「**1**」のキーより入力できます。

5. メニューの使い方

本機に搭載されているさまざまな機能は、メニュー別にまとめられています。

1. メニューを使用するには [Menu] を選択します。
   メニューの表示を変更する場合は、[Options] を押し、「*Main menu view*」、「*List*」または「*Grid*」の順に選択します。
2. メニューをスクロールして、サブメニューを選択します（たとえば、「*Settings*」）を選択します。
3. メニューにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Call*」）を選択します。
4. 選択したメニューにさらにサブメニューが含まれている場合は、そこから目的のもの（たとえば、「*Anykey answer*」）を選択します。
5. 必要な設定を選択します。
6. 1 つ上のレベルのメニューに戻るには [Back] を選択します。メニューを終了するには [Exit] を選択します。

6. メッセージ

メッセージサービスを使用するには、そのサービスがネットワークやサービスプロバイダによってサポートされていなければなりません。

注意：本機は、メッセージが、本機から本機にプログラムされているメッセージセンターの電話番号に送信されたことを表示する場合がありますが、これはメッセージが指定した宛先で受信されたことを示すものではありません。メッセージングサービスの詳細については、ご利用のサービスプロバイダにお問い合わせください。

重要: メッセージを開くときは注意が必要です。メッセージには悪質なソフトウェアが含まれていたり、本機またはお使いの PC に障害が発生したりする可能性があります。
メッセージを受信し表示できる電話機は、本機と互換性のある機能をもつものに限られます。メッセージがどのように表示されるかは、受信側の電話機に依存します。

■ 文字メッセージ（SMS）

SMS（Short Message Service）では、いくつかの通常の文字メッセージからなる連結メッセージを送受信できます（ネットワークサービス）。メッセージには画像を含めることができます。

本機は、送信時にメッセージの文字数制限を超えた場合に対応することができます。長いメッセージは、複数のメッセージに分割されて送信されます。ご利用のサービスプロバイダは、送信メッセージ数に応じて料金を請求することがあります。アクセント記号またはその他の記号を使用した文字や、他言語の文字によっては、文字数のカウントが通常より多く必要となるため、1 件のメッセージで送信できる文字数が制限されます。

SMSメッセージを作成して送信する

1. [Menu] を押し、「*Messaging*」、「*Create message*」、「*Text message*」の順に選択します。
2. メッセージを入力します。「文字を入力する」（P. 10）を参照してください。
   画面上部には、あと何文字入力できるかが表示されます。たとえば、10/2 は、メッセージを 2 つに分割して送信する場合、あと 10 文字入力できることを示します。
   メッセージに文字テンプレートや画像を挿入する場合は、「テンプレート」（P. 15）を参照してください。それぞれの画像メッセージは、いくつかの文字メッセージから構成されます。画像メッセージや連結メッセージを送信すると、文字メッセージよりも費用が高くなる可能性があります。
3. メッセージを送信するには、[Send] を選択して、「*Recently used*」、「*To phone number*」、「*To many*」、または「*To e-mail address*」のいずれかを選択します。

SMS メッセージを読む / 返信する

メッセージを受信すると、✉ が表示されます。
✉ が点滅している場合は、メッセージメモリがいっぱいであることを意味します。新しいメッセージを受信する前に「*Inbox*」フォルダから不要なメッセージを削除してください。

1. 新しいメッセージをすぐに見る場合は [Show] を選択します。後で読む場合は [Exit] を選択します。

   後でメッセージを読むには、[Menu] を押し、「*Messaging*」、「*Inbox*」の順に選択します。複数のメッセージが受信されている場合は、読みたいメッセージを選択してください。✉ は未読のメッセージを示します。
2. メッセージを開いている状態で [Options] を選択すれば、メッセージを削除したり転送することができます。あるいは、メッセージを文字メッセージとして編集したり、そのメッセージの名前を変更したり、メッセージを別のフォルダに移動したりすることができます。また、メッセージの本文を見たり抽出したりすることもできます。さらに、メッセージのはじめの部分をカレンダーにコピーすれば、予定表として使用できます。画像メッセージを読んでいる間に画像を「*Templates*」フォルダに保存するには、「*Save picture*」を選択します。

3. メッセージとして返信するには、[Reply] を選択してから、「*Text message*」、「*Multimedia msg.*」、「*Flash message*」、または「*Audio message*」のいずれかを選択します。返信メッセージを入力します。E-mail に返信する場合は、最初に E-mail のアドレスと件名を確認または編集してください。
4. 表示された番号にメッセージを送信するには、[Send]、[OK] の順に選択します。

テンプレート

本機には、文字テンプレート と画像テンプレート があります。

テンプレートリストを表示するには、[Menu] を押し、「*Messaging*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*Templates*」の順に選択します。

■ メモリの不足

新しい文字メッセージを受信したときにメッセージメモリがいっぱいだと が点滅し、「*Text msgs. memory full. Delete msgs.*」が表示されます。[No] を選択し、フォルダから不要なメッセージを削除してください。受信したメッセージを破棄するには [Exit]、[Yes] の順に選択します。

[No] を選択すると、メッセージを表示することができます。

■ フォルダ

受信したメッセージは「*Inbox*」フォルダに保存されます。

「*Message settings*」、「*Text messages*」、「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択した場合や、「*Message settings*」、「*Multimedia msgs.*」、「*Save sent messages*」、「*Yes*」の順に選択した場合、送信済みメッセージは「*Sent items*」フォルダに保存されます。

入力中のメッセージを「*Saved items*」フォルダに保存して後で送信したい場合は、「*Options*」、「*Save message*」、「*Saved text msgs.*」の順に選択します。 は、未送信のメッセージを示します。

メッセージを整理するには、メッセージを「*My folders*」に移すか、メッセージ用のフォルダを新たに追加します。
「*Messaging*」、「*Saved items*」、「*Text messages*」、「*My folders*」の順に選択します。

フォルダを追加するには、[Options]、「*Add folder*」の順に選択します。フォルダを 1 つも保存していない場合は、[Add] を選択します。

フォルダを削除したり名前を変更するには、そのフォルダにスクロールして、[Options] を押して「*Delete folder*」または「*Rename folder*」を選択します。

■ 留守番電話サービス

留守番電話サービスは、契約が必要なネットワークサービスです。詳細については、サービスプロバイダにお問い合わせください。

留守番電話サービスに電話するには、[Menu]、「*Messaging*」、「*Voice messages*」、「*Listen to voice messages*」の順に選択します。留守番電話サービスセンターの番号を入力、検索、または変更するには「*Voice mailbox number*」を選択します。

ネットワークが対応している場合は、留守番電話サービスセンターに新しいメッセージが保存されると が表示されます。留守番電話サービスセンターの番号に電話をかけてメッセージを聞くには、[Listen] を選択します。

■ メッセージを削除する

特定のフォルダにあるすべてのメッセージを削除するには、[Menu] を押して、「*Messaging*」、「*Delete messages*」の順に選択します。メッセージを削除するフォルダも一緒に削除されます。「*Yes*」を選択します。フォルダに未読メッセージがある場合、未読メッセージも削除するかどうかをたずねる表示が出ます。「*Yes*」をもう1回選択します。

7. 連絡先

名前や電話番号（「*Contacts*」）を本機のメモリとSIMカードのメモリに登録できます。

本機のメモリには電話番号とその他の情報を登録できます。また、特定の電話番号に画像を登録することもできます。

SIMカードに保存されている名前や電話番号は で表示されます。

■連絡先を検索する

[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Names*」の順に選択します。電話帳をスクロールするか、検索する名前の先頭文字を入力します。

■名前と電話番号を保存する

名前と電話番号は、使用中のメモリに保存されます。[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Names*」、「Options」、「*Add new contact*」の順に選択します。名前と電話番号を入力します。

■電話番号、詳細情報、または画像を保存する

本機の連絡先のメモリには、複数の電話番号や短いテキストを名前と一緒に登録することができます。

最初に登録した電話番号は、自動的に基本番号に設定され、電話番号の種類のアイコン（例、）が枠で囲まれて表示されます。電話をかけるときなどに名前を選択すると、他の番号を選択しない限りは、基本番号が使用されます。

1. 使用しているメモリが「*Phone*」または「*Phone and SIM*」であることを確認します。「設定」（P.19）を参照してください。
2. 新しい番号やテキスト項目を追加する名前にスクロールして、[Details]を押して[Options]、「*Add detail*」の順に選択します。
3. 番号を追加するには、「*Number*」を選択し、番号のタイプを選択します。

   他の詳細情報を追加するには、テキスト項目を選択するか、「*Gallery*」から画像を選びます。
4. 番号またはテキスト項目を入力し、[OK]を選択して保存します。
5. 待受モードに戻るには [Back]、[Exit]の順に選択します。

■連絡先をコピーする

コピーする連絡先を検索し、[Options]、「*Copy*」の順に選択します。本機の電話帳メモリにある名前や電話番号をSIMカードのメモリにコピーしたり、またはその逆にコピーすることができます。SIMカードのメモリには、名前と1つの電話番号を保存できます。

■連絡先の詳細情報を編集する

1. 編集する連絡先を検索して[Details]を選択し、使用する名前、電話番号、テキスト項目、または画像にスクロールします。
2. 名前、電話番号、またはテキスト項目を編集するには、[Options]を押して、「*Edit name*」、「*Edit number*」、または「*Edit detail*」を選択し、画像を変更するには、「*Change image*」を選択します。

   電話番号の種類を変更するには、使用する番号にスクロールして、[Options]を押して「*Change type*」を選択します。選択した電話番号を基本番号に設定するには、「*Set as default*」を選択します。

   「*IM contacts*」または「*Subscribed names*」リストに含まれているIDは編集できません。

■連絡先や連絡先の詳細を削除する

すべての連絡先と連絡先に登録されている詳細情報を本機またはSIMカードのメモリから削除するには、[Menu]を押して「*Contacts*」、「*Delete all contacts*」の順に選択します。次に「*From phone mem.*」または「*From SIM card*」を選択します。セキュリティコードを入力して、実行を確認します。

特定の連絡先を削除するには、削除する連絡先を検索して[Options]を押して「*Delete contact*」を選択します。

連絡先に登録されている電話番号、テキスト項目、または画像を削除するには、その連絡先を検索して、[Details]を選択します。削除する詳細情報にスクロールして、[Options]を押し「*Delete*」、「*Delete number*」の順に選択し、「*Delete detail*」または「*Delete image*」を選択します。画像を連絡先から削除しても、「*Gallery*」からは削除されません。

■ 設定

[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Settings*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Memory in use*」- 連絡先に SIM カードまたは本機のメモリを選択します。SIM カードと本機の両方のメモリから名前と番号を呼び出すには「*Phone and SIM*」を選択します。この場合、名前および番号を保存すると、本機のメモリに保存されます。

「*Contacts view*」- 連絡先の名前や電話番号の表示方法を選択できます。

「*Memory status*」- メモリの空き容量と使用量が表示されます。

■ グループ

メモリに保存されている名前と電話番号を Caller グループに分けて、グループ別に異なる着信音とグループ画像を設定するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Groups*」の順に選択します。

■ ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルキーに電話番号を登録するには、[Menu] を押して「*Contacts*」、「*Speed dials*」の順に選択し、登録するワンタッチダイヤルの番号にスクロールします。

「*Assign*」を選択します。そのキーに電話番号がすでに登録されている場合は、[Options] を押して「*Change*」を選択します。[Search] を選択して、登録する名前と電話番号を順に選択します。

「*Speed dialling*」機能がオフの場合、この機能を有効にするかどうかをたずねるメッセージが表示されます。「発着信の設定」の「*Speed dialing*」（P. 23）を参照してください。

ワンタッチダイヤルキーを使用した電話のかけ方については、「ワンタッチダイヤル」（P. 8）を参照してください。

■ 情報、サービス、自分の電話番号

[Menu] を押して「*Contacts*」を選択します。次のオプションが表示されます。

「*Info numbers*」- ご契約されているサービスプロバイダの情報番号が SIM カードに登録されている場合、その情報番号に電話をかけることができます（ネットワークサービス）。

「*Service numbers*」- ご契約されているサービスプロバイダのサービス番号が SIM カードに登録されている場合、そのサービス番号に電話をかけることができます（ネットワークサービス）。

「*My numbers*」- SIM カードに自分の電話番号が登録されている場合、その番号を確認できます。

8. 発着信履歴

履歴には、不在着信、着信、発信番号、および通話時間が記録されます。[Menu] を押して「*Log*」を選択します。

ネットワークがこの機能に対応しており、かつネットワークのサービスエリア内で本機の電源が入っている場合のみ記録されます。

■ 通話履歴

「*Missed calls*」、「*Received calls*」、「*Dialled numbers*」、「*Message Recipients*」メニューで、[Options] を押すと、通話時間を表示したり、履歴にある電話番号を変更および表示したり、履歴から電話をかけることができます。また、電話番号を連絡先に追加したり、履歴から削除できるオプションも表示されます。また、文字メッセージを送信することもできます。通話履歴を削除するには、「Menu」、「*Log*」、「*Clear log lists*」の順に選択します。

■ 通話料金と通話時間

注意：ご利用のサービスプロバイダから実際に請求される通話およびサービスのご利用料金は、ネットワークの機能、請求書発行時の端数計算、税金などによって異なる場合があります。

[Menu] を押して「*Log*」を選択し、「*Call duration*」、「*Packet data counter*」、または「*Packet data conn. timer*」を選択すると、最近の通話についての情報が表示されます。

9. 設定

■プロファイル（モード）

本機には「プロファイル」と呼ばれるモードの設定グループがあり、携帯電話の着信音などを状況や環境に合わせて自由に設定することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Profiles*」の順に選択します。プロファイル（モード）にスクロールして、それを選択します。

選択したプロファイルを有効にするには、「*Activate*」を選択します。

選択したプロファイルは設定した時刻（24 時間以内）まで使用することができます。「*Timed*」を選択し、終了時刻を入力します。終了時刻になると、以前に使用していたプロファイルに自動的に戻ります。

プロファイルを個人用に調整するには、「*Personalise*」を選択します。変更する設定を選択し、変更を加えます。

■音の設定

選択した有効なモードの設定を変更することができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Tones*」の順に選択します。「*Incoming call alert*」、「*Ringing tone*」、「*Ringing volume*」、「*Vibrating alert*」、「*Push to talk settings*」、「*Message alert tone*」、「*Instant message alert tone*」、「*Keypad tones*」、および「*Warning tones*」を選択して変更します。「*Profiles*」メニューにも同じ設定があります。「プロファイル（モード）」（P. 21）を参照してください。

最大レベルの呼出し音を選択すると、呼出し音は数秒後に最大レベルに達します。

特定のグループに登録されている電話番号から電話がかかってきたときだけ着信音を鳴らすには、「*Alert for*」を選択します。この機能を設定するグループをスクロールキーで選択するか、「*All calls*」を選択して、[Mark] を選択します。

■マイショートカット

個人用のショートカットを使用すると、頻繁に使用する電話機の機能をすばやく起動できます。

ショートカットを管理するには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*My shortcuts*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Right selection key*」- 右選択キーの機能をリストから選択します。「待受モード」（P. 6）も参照してください。

「*Navigation key*」- ナビゲーションキーのショートカット機能を選択します。該当するナビゲーションキーにスクロールして、「Change」を選択し、リストから機能を選びます。キーからショートカット機能を削除するには「*(empty)*」を選択します。キーに機能を再度割り当てるには [Select] を選択します。

■ 画面

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Display*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Wallpaper*」- 待受画面に表示する背景画像を追加します。壁紙を有効または無効にするには、「*On*」または「*Off*」を選択します。「*Select wallpaper*」を選択して「*Gallery*」から画像を選択します。または「*Select slide set*」と「*Gallery*」内のフォルダを選択してフォルダ内の画像をスライドセットとして使用します。

「*Screen saver*」、「*On*」の順に選択 - 主画面用のスクリーンセーバーを起動します。スクリーンセーバーが起動されるまでの時間を設定するには、「*Time-out*」を選択します。スクリーンセーバーに使用するグラフィックを選択するには、「*Image*」を選択し、「*Gallery*」から画像またはグラフィックを選択します。フォルダ内の画像をスライドセットとして使用するには、「*Slide set*」を選択して、「*Gallery*」内のフォルダを選択します。

「*Power saver*」、「*On*」の順に選択 - 電池の消費を少なくします。本機で一定の時間何も操作しないとデジタル時計が表示されます。

■ 日時の設定

時刻、タイムゾーン、日付の設定を変更するには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Time and date*」の順に選択し、「*Clock*」、「*Date*」または「*Auto-update of date & time*」のいずれかを選択します（ネットワークサービス）。

別のタイムゾーンに旅行する場合、[Menu] を押して、「*Settings*」、「*Time and date*」、「*Clock*」、「*Time zone*」の順に選択し、グリニッジ標準時（GMT）または協定世界時（UTC）に対する時差で現地のタイムゾーンを入力します。時刻と日付は、タイムゾーンに従って設定されるため、電話機には受信したテキストまたはマルチメディアメッセージの正しい送信時刻が表示されます。たとえば、GMT -5 はニューヨーク（米国）のタイムゾーンを示し、グリニッジ / ロンドン（英国）から 5 時間西になります。

インド（ニューデリー）には GMT +5.5 を使用します。タイ、インドネシア、ベトナムには GMT +7 を使用し、シンガポール、マレーシア、フィリピンには GMT +8 を使用します。オーストラリア（シドニー）には GMT +10 で、ニュージーランドには GMT +12 を使用します。

■ 発着信の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Call*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Automatic volume control*」- スピーカーの音量を背景ノイズに応じて自動的に調整します。

「*Call divert*」（ネットワークサービス）- 着信した電話を転送します。なんらかの通話禁止機能が有効になっている場合、着信した電話を転送できない場合があります。「セキュリティ」の「*Call barring service*」（P. 24）を参照してください。

「*Anykey answer*」、「*On*」の順に選択 - 任意のキーを押して、かかってきた電話に応答することができます。ただし、終了キー、左選択キー、右選択キーでは応答できません。

「*Automatic redial*」、「*On*」の順に選択 - かけた電話が相手につながらないときに、最大 10 回までリダイヤルします。

「*Speed dialling*」、「*On*」の順に選択 - ワンタッチダイヤルを有効にします。ワンタッチダイヤルの設定方法については、「ワンタッチダイヤル」（P. 19）を参照してください。電話をかけるには、ワンタッチダイヤルに割り当てられた番号キーを長く押します。

「*Call waiting*」、「*Activate*」の順に選択 - 通話中に別の電話がかかってきたときにネットワークから通知されます（ネットワークサービス）。「割込通話」（P. 9）を参照してください。

「*Summary after call*」、「*On*」の順に選択 - 通話終了後にその通話にかかったおおよその時間と料金が、画面に短時間表示されます（ネットワークサービス）。

「*Send my caller ID*」（ネットワークサービス）を選択し、「*Set by network*」（ネットワークに従う）、「*Yes*」、または「*No*」を選択します。

「*Line for outgoing calls*」（ネットワークサービス）- SIM カードがこの機能に対応している場合、発信時に使用する回線 1 または回線 2 を選択できます。

■ 電話機の設定

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Phone*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Phone language*」- 画面の表示言語と入力言語を設定します。

「*Memory status*」- 「*Gallery*」、「*Messaging*」、および「*Applications*」のメモリの空き容量と使用量を確認できます。

「*Automatic keyguard*」- 本機の表示が待受画面で、いずれの機能も使用されていない場合、事前に設定した一定時間の経過後に電話機のキーパッドが自動的にロックされます。「*On*」を選択し、5 秒 ～ 60 分の間で時間を設定します。

「*Security keyguard*」- キーガードを解除するときにセキュリティコードの入力を求めるように設定します。セキュリティコードを入力して、「*On*」を選択します。

「*Cell info display*」、「*On*」の順に選択 - 使用しているネットワークセルの情報を携帯電話事業者から受信できます（ネットワークサービス）。

「*Welcome note*」- 本機の電源を入れたときに画面に短時間表示されるメッセージを入力します。

「*Operator selection*」、「*Automatic*」の順に選択 - 現在のエリアで利用可能な携帯電話ネットワークを自動的に選択します。「*Manual*」に設定する場合は、ホームネットワークの携帯電話事業者とローミング契約を結んでいるネットワークを選択できます。

「*Help text activation*」- ヘルプテキストを表示するかどうかを選択できます。

「*Start-up tone*」- 本機の電源を入れたときにウェイクアップ音を鳴らすかどうかを設定します。

■ セキュリティ

通話制限（「call barring」、「closed user group」、「fixed dialing」）のセキュリティ機能が使用されている場合でも、本機にプログラムされている公式の緊急電話番号に電話をかけることができます。

[Menu] を押して「*Settings*」、「*Security*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*PIN code request*」- 本機の電源を入れたときに PIN コードまたは UPIN コードの入力が必要になるよう設定します。一部の SIM カードでは、この機能の解除を禁止しています。

「*Call baring service*」（ネットワークサービス）- 電話の発着信を制限します。この機能の設定には、パスワードが必要です。

「*Fixed dialling*」- SIM カードがこの機能に対応している場合、電話の発信を、選択した電話番号だけに制限することができます。

「*Closed user group*」（ネットワークサービス）- 特定のグループの人を電話の発着信の相手に指定できます。

「*Security level*」、「*Phone*」の順に選択 - 新しい SIM カードが本機にセットされた場合、セキュリティコードの入力が必要になります。「*Memory*」を選択した場合、使用するメモリを SIM カードから本機に変更するときにセキュリティコードの入力が必要になります。

「*Access codes*」- セキュリティコード、PIN コード、UPIN コード、PIN2 コード、および発着信規制パスワードを変更します。

「*Code in use*」- PIN コードと UPIN コードのどちらを有効にするかを選択します。

「*Pin2 code request*」- PIN2 コードの対象となる特定の電話機能を使用する際に PIN2 コードが必要かどうかを選択します。

■ 初期設定に戻す

メニューの設定をお買い上げの際の設定にリセットするには、[Menu] を押して「*Settings*」、「*Restore factory sett.*」の順に選択します。セキュリティコードを入力します。「*Contacts*」に登録されている名前や電話番号など、お客様が入力またはダウンロードしたデータは削除されません。

10. ギャラリー

このメニューでは、グラフィックス、画像、録音、ビデオクリップ、テーマ、音を管理できます。これらのデータファイルがフォルダに整理されます。

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、転送はできないことがあります。

「*Gallery*」に保存されたファイルは、約 3 MB の容量があるメモリを使用します。

フォルダのリストを表示するには、[Menu] を押して「*Gellery*」を選択します。

利用可能なフォルダオプションを表示するには、フォルダを選択して [Options] を押します。

特定のフォルダのファイルリストを表示するには、フォルダを選択して [Open] を押します。

利用可能なファイルオプションを表示するには、ファイルを選択して [Options] を押します。

11. メディア

著作権の保護のため、一部の画像や音楽（着信音を含む）、およびその他のコンテンツのコピー、変更、譲渡、転送はできないことがあります。

■ カメラ

本機内蔵カメラで、写真を撮ったり、ビデオクリップを録画することができます。このカメラでは、JPEG 形式の画像と 3GP 形式のビデオクリップが生成されます。

画像やビデオクリップを撮影または録画して使用する際には、すべての法律を順守し、その地域の慣習や他人のプライバシーおよび法的権利を尊重してください。

本機のカメラの解像度は 640 x 480 ピクセルです。本書に表示された画像の解像度は、異なって見える場合があります。

写真を撮影する

写真を撮影するには、[Menu] を押して「*Media*」、「*Camera*」の順に選択して、[Capture] を押します。撮影した写真は、本機の「*Gallery*」の「*Images*」に保存されます。別の写真を撮影するには、[Back] を選択します。撮影した写真をマルチメディアメッセージとして送信するには、[Send] を選択します。オプションを表示するには、[Options] を押します。

ビデオクリップを録画する

[Menu] を押して「*Media*」、「*Camera*」の順に選択します。ビデオモードを選択するには、左または右にスクロールするか、[Options]、「*Video*」の順に選択します。録画を開始するには、[Record] を選択します。録画を停止するには、[Pause] を選択し、録画を再開するときは、[Continue] を選択します。録画を停止するには、[Stop] を選択します。録画したビデオクリップは、本機の「*Gallery*」の「*Video clips*」に保存されます。オプションを表示するには、[Options] を押します。

■ ラジオ

FM ラジオは、無線機器のアンテナ以外のアンテナに依存します。FM ラジオが正しく機能するには、互換性のあるヘッドセットまたはアクセサリを取り付ける必要があります。

警告：音楽を聴く際には、適度な音量を守ってください。大音量で音楽を聴き続けると、聴覚に障害をきたす可能性があります。スピーカーを使用する際には、本機を耳に近づけないでください。

[Menu] を押して「*Media*」、「*Radio*」の順に選択します。画面に表示される ▲、▼、◀◀、または ▶▶ のグラフィカルキーを使用するには、そのキーまで左または右にスクロールして選択します。

音量を変更するには、音量キーを押します。

ラジオ局を登録する

1. ラジオ局を検索するには、◀◀ または ▶▶ を長く押します。ラジオの周波数を 0.05 MHz ごとに変更する場合は、◀◀ または ▶▶ を押します。
2. そのラジオ局をメモリロケーションの 1 から 9 に登録するには、該当するキーを長く押します。そのラジオ局をメモリロケーションの 10 から 20 に登録するには、**1** または **2** を押し、続いて **0** から **9** の番号キーを長く押します。
3. ラジオ局の名前を入力して、[OK] を選択します。

ラジオを聴く

[Menu] を押して「*Media*」、「*Radio*」の順に選択します。希望のラジオ局にスクロールして ▲ または ▼ を選択するか、ヘッドセットキーを押します。登録したラジオ局ロケーションを選択するには、該当する番号キーを押します。

[Options] を選択します。次のオプションが表示されます。

「*Switch off*」- ラジオをオフにします。

「*Save station*」- 新しいラジオ局を登録し、ラジオ局の名前を入力します。

「*Stations*」- 登録したラジオ局のリストを選択します。ラジオ局を削除したり名前を変更するには、そのラジオ局にスクロールして、[Options] を押し「*Delete station*」または「*Rename*」を選択します。

「*Mono output*」または「*Stereo output*」- ラジオをモノラルまたはステレオで聴きます。

「*Loudspeaker*」または「*Headset*」- ラジオをスピーカーまたはヘッドセットを使用して聴きます。ヘッドセットは電話に接続したままにしてください。ヘッドセットのリードはラジオのアンテナとして機能します。

「*Set frequency*」- ラジオ局の周波数を入力します。

ラジオを聴いている間も、通常どおり電話をかけたり電話に応答することができます。通話中は、ラジオの音量は消音になります。

パケットデータまたは HSCSD 接続を使用しているアプリケーションがデータの送受信を行うと、ラジオを妨害することがあります。

■ レコーダー

音声、サウンド、または通話中の会話を 5 分間録音することができます。実際に録音できる時間は、利用可能な空きメモリの容量により異なります。

データの呼び出しや GPRS 接続が有効な場合は、レコーダーを使用することはできません。

録音する

1. [Menu] を押して「*Media*」、「*Recorder*」の順に選択します。

   画面に表示される ● 、▮▮ 、または ■ のグラフィカルキーを使用するには、そのキーまで左または右にスクロールして選択します。
2. 録音を開始するには、● を選択します。通話中に録音を開始するには、[Options] を押して「*Record*」を選択します。通話の録音中、通話に加わっているすべての人に 5 秒おきにビープ音が聞こえます。通話の録音中は、本機を通常どおり耳元で使用します。
3. 録音を終了するには、■ を選択します。録音した通話は「*Gallery*」の「*Recordings*」に保存されます。
4. 一番新しい録音を聞くには、[Options]、「*Play last recorded*」の順に選択します。
5. 一番新しい録音をマルチメディアメッセージまたは IR を使用して送信するには、[Options]、「*Send last recorded*」の順に選択します。

録音リスト

[*Menu*] を押して「*Media*」、「*Recorder*」、[Options]、「*Recordings list*」の順に選択します。「*Gallery*」に含まれるフォルダのリストが表示されます。「*Recordings*」を開くと、録音した音声のリストが表示されます。[Options] を押すと、「*Gallery*」内のファイルに対するオプションを選択できます。「ギャラリー」（P. 26）を参照してください。

12. オーガナイザー

■ アラーム

設定した時刻にアラームを鳴らすことができます。[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Alarm clock*」の順に選択します。

アラームを設定するには、「*Alarm time*」を選択してアラーム時刻を入力します。アラーム時刻を変更するには、アラーム時刻を変更後に「*On*」を選択します。指定した曜日にアラームを鳴らすには、「*Repeat alarm*」を選択します。

アラーム音を選択したり、アラーム音としてラジオを鳴らすには、「*Alarm tone*」を選択します。アラーム音にラジオを選択した場合は、電話機にヘッドセットを接続してください。最後に聴いていたラジオ局がアラーム音としてなります。アラーム音はスピーカーから鳴ります。ヘッドセットを接続していない場合や、電話機の電源を切っている場合は、ラジオの変わりにデフォルトのアラーム音が鳴ります。

スヌーズタイムアウト（後で再び鳴る）を設定するには、「*Snooze time-out*」を選択します。

アラームを停止する

本機の電源がオフのときでも、アラーム音は鳴り、画面に「*Alarm!*」という文字と現在時刻が点滅表示されます。アラームを停止するには、[Stop] を選択します。アラームを 1 分間鳴らし続けるか、または [Snooze] を押すと、アラームが止まり、事前に設定したスヌーズ時間の経過後に再びアラームが鳴ります。

本機の電源が入っていないときにアラーム時刻になると、自動的に電源が入ってアラーム音が鳴り始めます。[Stop] を押すと、通話できる状態にするかどうかの確認が本機に表示されます。電源を切る場合は [No] を押します。電話をかけたり受けたりする場合は [Yes] を押します。携帯電話によって電波干渉や危険な事態を引き起こす可能性がある場合は、[Yes] を押さないでください。

■ カレンダー

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calendar*」の順に選択します。

今日の日付は枠で囲まれて表示されます。カレンダーノートが保存されている日付は、太字で表示されます。カレンダーノートを表示するには、[View] を選択します。週単位で表示するには、[Options] を押して「*Week view*」を選択します。カレンダーに保存されているすべてのノートを削除するには、月または週単位の表示を選択し、[Options] を押して「*Delete all notes*」を選択します。

日付ごとの表示に使用できるオプションには、「*Make a note*」や、ノートの「*Delete*」、「*Edit*」、「*Move*」、および「*Repeat*」があります。また、ノートを他の日付に「*Copy*」、ノートを文字メッセージまたはマルチメディアメッセージで送信したり、赤外線を使用して送信したり、または互換性のある他の電話機のカレンダーに送信する「*Send note*」があります。「*Settings*」では、日付と時刻を設定できます。「*Auto-delete notes*」を使用すると、一定時間が経過したノートを自動的に削除できます。

カレンダーノートを作成する

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calendar*」の順に選択します。スクロールキーで日付を選択して [Options] を押し、「*Make a note*」を選択します。カレンダーノートのタイプを次の中から選択します。「*Meeting*」、「*Call*」、「*Birthday*」、「*Memo*」、または「*Reminder*」。

アラームの時刻になると

画面にカレンダーノートが表示され（設定してある場合）、音が鳴ります。Callタイプのノートの場合、通話キーを押すだけで、表示された番号に電話がかかります。アラームを止めてカレンダーノートを確認するには、[View] を選択します。[Snooze] を選択すると、アラーム音は約10分間後に再び鳴ります。カレンダーノートを確認せずにアラームを止めるときは、[Exit] を選択します。

■ 予定表

やらなければならない仕事のノートを保存するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*To-do list*」の順に選択します。

ノートが1つも保存されていない場合にノートを作成するには、[Add note] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は、[Options] を押して「*Add*」を選択します。ノートを入力し、[Save] を選択します。ノートの優先度、期日、およびアラームタイプを選択します。

ノートを確認するには、そのノートにスクロールして [View] を選択します。

選択したノートを削除するオプションや、完了（done）のマークを付けたノートをすべて削除するオプションも選択できます。ノートを優先度順または期日順に並べ替えたり、他の電話機にノートを文字メッセージまたはマルチメディアメッセージ、または赤外線で送信したり、カレンダーノートとしてノートを保存したり、また、カレンダーにアクセスするなどの機能があります。ノートの表示中にも、ノートの優先度や期日を編集したり、ノートに完了（done）のマークを付けるオプションを選択できます。

■ ノート

このアプリケーションを使用してノートを作成して送信するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Notes*」の順に選択します。ノートが 1 つも保存されていない場合にノートを作成するには、[Add note] を選択します。すでに保存されたノートがある場合は、[Options] を押して「*Make a note*」を選択します。ノートを入力し、「*Save*」を選択します。

その他のオプションには、ノートの削除と編集があります。ノートの編集中、変更を保存せずにテキストエディターを終了することもできます。文字メッセージ、マルチメディアメッセージ、または赤外線を使用して互換性のある機器にノートを送信できます。

■ 電卓

本機の電卓には、足し算、引き算、かけ算、割り算、2 乗、平方根、および通貨の換算機能があります。

注意：この計算機は単純な計算用に設計されており、精度には限界があります。

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calculator*」の順に選択します。画面に 0 が表示されたら、計算する 1 番目の数を入力します。小数点には # キーを押します。[Options] を押して、「*Add*」、「*Subtract*」、「*Multiply*」、「*Divide*」、「*Square*」、または「*Square root*」、「*Change sign*」のいずれかを選択します。計算する 2 番目の数を入力します。結果を出すには、「Equals」を選択します。この手順を必要なだけ繰り返します。新しい計算を開始するには、[Clear] を長く押します。

通貨を換算するには、[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Calculator*」の順に選択します。換算レートを設定するには、[Options]、「*Exchange rate*」の順に選択します。表示されたオプションのどちらか一方を選択します。換算レートを入力して（小数点には # キーを押す）、[OK] を選択します。換算レートは別の値が入力されるまでメモリに残ります。通貨を換算するには、金額を入力して、[Options] を押し、「*In domestic*」または「*In foreign*」を選択します。

■ ストップウォッチ

時間を計測したり、経過時間（スプリットタイム）を記録したり、ラップタイムを記録したりするには、ストップウォッチを使用します。ストップウォッチの使用中でも、本機の他の機能は使用できます。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

他の機能を使用しているときにストップウォッチを使用したり、ストップウォッチをバックグラウンドで実行したりすると、電池の消費量が増え、電池の消耗が早くなります。

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Stopwatch*」の順に選択します。次のオプションが表示されます。

「*Split timing*」- 経過時間を記録します。ストップウォッチの表示を開始するには、[Start] を選択します。経過時間を記録するたびに、[Split] を選択します。ストップウォッチを停止するには、[Stop] を選択します。測定した時間を保存するには、[Save] を選択します。ストップウォッチの表示を再開するには、[Options]、「*Start*」の順に選択します。この場合、ストップウォッチを停止する前の時間に新しい時間が追加されます。ストップウォッチを停止する前の時間をリセットするには、「*Reset*」を選択します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

「*Lap timing*」- ラップタイムを記録します。ストップウォッチをバックグラウンドで使用するには、終了キーを押します。

「*Continue*」- バックグラウンドで使用しているストップウォッチを元に戻します。

「*Show last*」- 最後に計測した時間を表示します。ただし、ストップウォッチをリセットしていると表示されません。

「*View times*」または「*Delete times*」- 保存した時間を表示または削除します。

■ カウントダウンタイマー

[Menu] を押して「*Organiser*」、「*Timer*」の順に選択します。タイマーの時間を、時間、分、および秒で入力し、[OK] を選択します。タイマーの時間が経過したときに表示させる文字メッセージも入力できます。タイマーを起動するには、「*Start*」を選択します。タイマーの時間を変更するには、「*Change time*」を選択します。タイマーを停止するには、「*Stop timer*」を選択します。

本機が待受モードのときにタイマーの時間が経過すると、アラーム音が鳴り、文字メッセージを入力してある場合はそれが表示されます。それ以外は「*Countdown time up*」が表示されます。アラームは、キーをどれか押すと停止できます。どのキーも押さないと、アラームは 60 秒後に自動的に停止します。アラームを停止して文字メッセージを消去するには、[Exit] を選択します。タイマーを再び起動するには、[Restart] を選択します。

13. アクセサリ

本機でご利用いただけるアクセサリのバリエーションがさらに広がりました。お客様のニーズに合わせてアクセサリをお選びください。

本機に対応するアクセサリについて、いくつかここでご紹介します。

アクセサリのご使用にあたっては、次の注意事項をお守りください。

アクセサリおよび拡張コンポーネントに関する使用上の注意

- すべてのアクセサリおよび拡張コンポーネントは、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。
- アクセサリまたは拡張コンポーネントの電源コードを外すときは、コードではなくプラグを持って引き抜いてください。
- 車内の携帯電話機器は、適切に取り付けられ、正常に動作しているか定期的に確認してください。
- 複雑な車内用アクセサリの取り付けは、資格のある担当者だけが行うことができます。

本機を使用する際には、Nokia が認定した電池、充電器およびアクセサリのみを使用してください。これ以外の機器を使用すると、本機に対する認定あるいは保証の対象外となるだけでなく、事故などが起こる場合があります。

■ 電池パック

型番	使用	連続通話時間 *	連続待受時間 *
BL-5B	リチウムイオン	3.5 時間（最大）	300 時間（最大）

* SIM カード、ネットワークおよび使用設定、使用方法、環境によって、連続通話時間および連続待受時間が異なる場合があります。FM ラジオやハンズフリーの使用は、連続通話時間と連続待受時間に影響します。

■ 充電器

Compact Charger（AC-3）

コンパクトで軽い充電器です（同梱のみ）。

Travel Charger（AC-4）

コンパクトで軽い急速充電器です（別売り）。

14. 電池について

■ 充電と放電

本機は、充電できる電池を電源として使用しています。電池は数百回充電と放電を繰り返すことができますが、次第に消耗します。使用時間（通話時間と待受時間）が通常より極端に短くなった場合は、電池を取り替えてください。Nokia 認定の電池以外は使用しないでください。また、Nokia 認定の充電器以外を用いて電池の充電をしないでください。

交換した電池を初めて使用する場合、または電池が長期間使用されていなかった場合は、場合によっては、充電を開始するのに、充電器を取り付けた後、いったん取り外してから再度取り付ける必要があります。

充電器を使用していないときは、電気プラグからプラグを抜き、本機からも取り外してください。過充電は、電池の寿命を短くする場合がありますので、充電が完了した電池を充電器に接続したまま放置しないでください。完全に充電された電池は使用しなくても徐々に放電します。

電池が完全に放電されている場合は、充電中を示すインジケータが画面に表示されるまで、または通話ができるようになるまで、数分かかる場合があります。

本来の目的以外にこの電池を使用しないでください。損傷した充電器または電池を絶対に使用しないでください。

電池をショートさせないでください。金属物（コイン、クリップ、またはペン）が電池の金属部分のプラス端子およびマイナス端子（電池の金属部分）に直接接続した場合、偶発的に電池がショートすることがあります。このような事故は、ポケットまたは財布に予備のバッテリーを携帯している場合などに起こる可能性があります。端子をショートさせると、電池または接続物が損傷することがあります。

夏の閉め切った車中や寒い冬の日など、高温または低温の場所に電池を放置しておくと、電池の容量と寿命が短くなります。電池は常に 15°C ～ 25 °C（59 °F ～ 77 °F）の温度範囲で保管するようにしてください。高温または低温状態の電池は、完全に充電されていても取り付けたときに一時的に本機が動作しない場合があります。0 °C 以下では、電池の性能が著しく制限されます。

爆発する可能性があるため、火の中へは絶対に電池を投げ込まないでください。電池が損傷した場合も、爆発の恐れがあります。電池は、国内の規定に従って廃棄してください。可能な場合はリサイクルしてください。家庭の一般廃棄物として処分しないでください。

携帯電話や電池を分解したり、切断したりしないでください。電池の液体が漏れた場合、その液体が肌や目に触れないようにしてください。電池の液が肌または目に触れた場合､直ちに水で洗い流すか､医師の診察を受けてください。

重要: 電池の通信待機可能時間はあくまでも推定値であり、信号強度、ネットワークの状態、使用する機能、電池の寿命と状態、電池がさらされている温度、デジタル モードでの使用、およびその他の多くの要因によって変化します。本機を通話で使用する合計時間が、スタンバイ時間に影響します。同様に、本機の電源が入った状態で、待受画面になっている合計時間が、本機で会話できる時間に影響します。

15. お手入れとメンテナンス

本機の製造には、優れたデザインと技術が採用されています。お取り扱いには十分ご注意ください。保証の対象範囲をお守りいただけるよう、次の記載事項をお読みください。

- 湿気のある場所に置かないでください。雨水、湿気、および液体はミネラルを含み、電気回路を腐食させます。本機が濡れた場合、電池を取り外し、本機を完全に乾かしてから取り付けてください。
- ほこりが多く、清潔でない場所で使用または保管しないでください。電話機の可動部と電子部品が損傷することがあります。
- 高温の場所で保管しないでください。高温状態では、電子機器の寿命を短くするだけでなく、電池が損傷したり、特定のプラスチック部品が変形したり、溶けたりする原因となります。
- 低温の場所で保管しないでください。電話機を通常の温度まで暖めると、本体の内部に結露が発生し、電気回路基板に損傷をきたすことがあります。
- 本書で指示された以外の方法で本機を分解しないでください。
- 本機を落としたり、たたいたり、振ったりしないでください。手荒に取り扱うと、内部の回路基板と優れた構造に損傷をきたすことがあります。
- 本機のお手入れをする場合、刺激の強い化学薬品、洗浄液、または強い洗剤を使用しないでください。
- 本機を塗装しないでください。塗装すると装置の可動部を詰まらせ、適切に動作しなくなることがあります。
- レンズ（カメラレンズ、近接センサー、ライトセンサーレンズ等）のお手入れには、柔らかくて清潔な、乾いた布をお使いください。
- 付属の、またはNokiaが認定した交換アンテナのみを使用してください。無許可のアンテナ、改造、付属品の取り付けは、電話機の損傷の原因となり、無線装置についての規定に違反する場合があります。
- 充電器は屋内で使用してください。
- 電話帳やカレンダーノートなど保存しておきたいデータは必ずバックアップを取ってください。
- 最適な動作状態を保つために本機をリセットする場合は、本機の電源を切ってから電池を取り外してください。

これらの注意事項は、電話機の本体、電池、充電器、またはその他のアクセサリすべてに適用されます。適切に動作しない機器がある場合は、ハローノキアにサービスを依頼してください。

16. 安全についての追加情報

■ 小さなお子様

本機やアクセサリには、小さな部品が使用されています。小さなお子様の手の届くところに置かないでください。

■ 操作環境

本機は、人体から最低 2.2cm 離した位置で使用された場合と、通常の耳元での操作位置で使用された場合に電波防護指針のガイドラインに適合します。本機をキャリーケース、ベルトクリップ、またはホルダーとともに人体に身に付ける場合は、金属製物質と一緒に身に付けず、本機が身体から最低 2.2cm 離れたところに位置するようにしてください。

本機でデータファイルやメッセージを送信する場合、高品質のネットワーク接続が必要です。場合によっては、高品質のネットワーク接続が利用可能になるまで、データファイルやメッセージの送信が遅れることがあります。送信が完了するまで、本機が身体から 2.2cm 離れていることを確認してください。

本機は磁気部品を使用しており、金属物が本機に引き寄せられる場合があります。本機の近くにクレジットカードや、その他の磁気記憶媒体を置かないでください。記憶された情報が消去されてしまうことがあります。

■ 医療機器

携帯電話を含む無線送信機の動作は、十分に保護されていない医療機器の機能を妨害する可能性があります。医療機器が外部の電波から十分に遮蔽されているかを判断する際、またはご不明な点がありましたら、医師または医療機器メーカーにご相談ください。医療施設などで本機の電源を切るよう規則が掲示してある場合は、その指示に従ってください。病院または医療施設では、外部の電波に対して感度の高い電気医療機器を使用している場合があります。

ペースメーカー

ペースメーカー製造業者は、ペースメーカーの誤作動を防ぐため、携帯電話をペースメーカーから 15.3cm 以上離すことを勧めています。以下の勧告は、「Wireless Technology Research」が独自に行った研究に基づいて推奨されるものです。ペースメーカーを装着されている方は、次の事項を守ってください。

- 本機の電源が入っているときは、常に本機をペースメーカーから 15.3cm 以上離してください。
- 胸ポケットに本機を入れて持ち運ぶのはおやめください。
- ペースメーカーの誤作動を最小限にするため、ペースメーカーを装着している側の反対の耳で本機をご使用ください。

- ペースメーカーの誤作動が少しでも感じられた場合は、すぐに本機の電源を切り、本機を離れた場所に置いてください。

補聴器

補聴器デジタル無線機が一部の補聴器の動作を干渉する場合があります。万が一、そのような干渉があった場合は、ご契約されているサービスプロバイダまでご相談ください。

■乗り物

電波は、適切に取り付けられていない、または十分に遮蔽されていない自動車の電子装置（電子燃料噴射システム、電子アンチロックブレーキ装置、電子速度制御装置、およびエアバック装置など）に影響を与える場合があります。詳しい情報につきましては、自動車および追加装備した装置のメーカー、または代理店にご確認ください。

資格を有するスタッフ以外は、本機の修理、または自動車への本機の取り付けをしないでください。誤った取り付けや修理は危険を伴うことがあるだけでなく、本機に適用されるすべての保証が無効になる場合があります。車内の無線機は、適切に取り付けられ、正常に動作していることを定期的に確認してください。可燃性の液体、ガス、または爆発性物質を、本機、その部品、またはアクセサリと一緒に車内に保管、または持ち運ばないでください。エアバックを装備した自動車では、エアバックが強い力で膨らみます。エアバックの上の部分、またはエアバックが膨らむ範囲に、固定無線機と移動無線機の両方を含めて、物を置かないでください。車内の無線機が適切に取り付けられていない場合、エアバックが膨らんだときに重傷を負うことがあります。

飛行中に本機を使用することは禁止されています。航空機に搭乗する前に本機の電源を切ってください。航空機内で携帯電話を使用すると、航空機の操作に危険をもたらし、無線通信が混信する原因にもなります。また機内での携帯電話の使用は違法となる場合もあります。

■爆発の危険がある場所

爆発の危険がある場所では、本機の電源を切り、すべての標識や指示に従ってください。爆発の危険がある場所とは、通常自動車のエンジンを停止するよう指示されている場所を含みます。そのような場所で発生する火花は、爆発または火災の原因となり、怪我や死につながる恐れがあります。ガソリンスタンドのガソリンポンプの近くといった給油地点では、本機の電源を切ってください。給油箇所、燃料貯蔵、燃料販売場所、化学工場、または爆破作業が行われている現場での無線機の使用に関する規制に従ってください。爆発の危険がある場所は、たいていの場合は明確に表示されていますが、常にそうであるとは限りません。そのような場所としては、船のデッキの下、化学物質の搬送または保

管施設、液化石油ガス（プロパンまたはブタン等）を使用する自動車、大気中に結晶粒、ほこり、または金属粉末といった化学物質または微粒子が含まれる場所があります。

■ 緊急通報

重要：他の携帯電話と同じように、本機は無線信号、無線ネットワーク、有線ネットワーク、およびお客様によってプログラムされた機能も使用しているため、すべての条件で接続を保証できるものではありません。従って、救急車を呼ぶ場合といった非常に重要な連絡には、無線機だけに頼らないようにしてください。

緊急電話番号に電話をかけるには

1. 本機の電源が入っていない場合は、電源を入れます。電波が十分に届いていることを確認してください。

   ネットワークによっては、有効な SIM カードを電話機に挿入するよう要求される場合があります。
2. 必要な数だけ終了キーを押して画面をクリアし、電話がかけられる状態にします。
3. 現在いる地域の緊急電話番号を入力します。地域によって緊急電話番号は異なります。
4. 通話キーを押して電話をかけます。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。本機がオフラインモードまたはフライトモードの状態で緊急電話番号に電話をかけるには、モードを変更して電話の機能を有効にする必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービスプロバイダにお問い合わせください。

使用中の機能によっては、緊急電話番号に電話をかける前に機能を終了する必要があります。詳細は本書を参照の上、ご契約されているサービス プロバイダにお問い合わせください。

緊急電話番号に電話をかける場合、必要な情報をできる限り正確に伝えることを心がけてください。事故現場では、お客様の無線機が唯一の通信手段となる場合があります。指示があるまでは電話を切らないでください。

■ 証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）

このモデルの携帯電話は、電波防護指針に適合しています。

本機は無線送受信機です。本機は、国際ガイドライン推奨の電波暴露限度を超えないよう設計されています。これらのガイドラインは、独立科学機関 ICNIRP によって策定されており、年齢や健康状態に関係なく、すべての人の安全を確保するのに十分な安全率を含んでいます。携帯電話の電波防護指針には、SAR（比吸収率）という測定単位を採用しています。ICNIRP ガイドラインで指定される SAR 限度は、生体組織 10g あたり 2.0W/kg（ワット / キログラム）です。SAR 試験は、すべての試験周波数帯において通常の電話機の操作位置で、認証を受けた最大送信電力で行われます。操作中の電話機の実際の SAR レベルは、その最大値を下回る値となります。これは、ネットワークとの通信に必要最小限の送信電力となるように、電話機が設計されているためです。実際の値は、基地局にどのくらい近い位置にいるか等といった様々な要因によって異なります。本機を耳元で使用した試験の場合、ICNIRP ガイドラインに基づいた SAR の最大値は、0.84W/kg です。デバイスアクセサリやアクセサリの使用により、異なる SAR 値になる場合があります。SAR 値は、各国の報告要件、試験要求事項、およびネットワークの帯域によって異なる場合があります。SAR の追加情報については、www.nokia.com にある製品情報でご覧ください。

製造者による限定保証（日本国内でのみ有効です）

注：本限定保証は、消費者製品の販売に適用される国内強行法規に基づくお客様の法律上の権利に追加されるものであり、当該権利に影響を及ぼすものではありません。

Nokia Corporation（以下「Nokia」といいます）は、販売パッケージに含まれる Nokia 製品（以下「本製品」といいます）の購入者に対し、限定的な保証を提供します。

Nokia は、保証期間中、Nokia 又は Nokia の認定サービス会社が、（法律により別途定めのある場合を除き）本限定保証に従い本製品を修理することにより、又は、Nokia が自らの絶対的な裁量権により必要とみなした場合は、本限定保証に従い本製品を交換することにより、商取引上合理的な時間内に材質、設計及び製造工程上の不具合を無償で修正します。本限定保証は、お客様が本製品を購入した国において、本製品がその国で販売されることを目的とされている限りにおいてのみ有効であり実施可能です。

保証期間

保証期間は、最初のエンドユーザによる本製品の当初の購入時点を起点とします。本製品は、いくつかの異なる種類の部品から構成されることがあり、それぞれの部品には、個別の保証期間（以下「保証期間」といいます）が適用されることがあります。個別の保証期間は以下の通りです。

1. 下記の 2 及び 3 に列挙される消耗部品及び付属品を除き、移動機及び付属品（移動機の販売パッケージに含まれているか個別に販売されているかを問いません）については 12ヶ月間。
2. 次の消耗部品及び付属品については 6ヶ月間：バッテリー、充電器、卓上ホルダー、イヤホンマイク、ケーブル及びカバー。
3. CD-ROM、メモリカード等、何らかのソフトウェアを提供する媒体については 90 日間。

お客様の国内法令により許される限りにおいて、保証期間は、後日、本製品を再販売、修理又は交換したことを理由に延長されず、更新されず、又はその他影響を受けません。但し、修理された部品は、当初の保証期間の残余期間か、又は修理日から 60 日間のうち、いずれか長い方の期間について保証されます。

保証サービスを受けるには

お客様が本限定保証に基づき請求を行うことを希望される場合、Nokia コールセンターにご連絡をいただくか（コールセンターのご利用が可能な場合。ご利用には国内通話料が課せられることにご留意ください。）、及び／又は、必要な場合は、Nokia サービスセンター又は Nokia 指定修理店へ本製品又は問題のある部品（問題が本製品の全体にない場合）をご返送いただくことができます。Nokia サービスセンター、Nokia 指定修理店、及び Nokia コールセンターについては、ご利用が可能であれば Nokia の国別ホームページに記載されております。

お客様は、保証期間が満了するまでに、Nokia サービスセンター又は Nokia 指定修理店へ、本製品又は問題のある部品（問題が本製品の全体にない場合）を返送しなければなりません。

本限定保証に基づく請求を行う場合、お客様は、a) 本製品（又は問題のある本製品の部品）、b) 購入を証明する書類の原本（判読可能かつ修正されていないものであって、販売者の名称及び所在地、購入日及び購入地、製品の種類、及び IMEI 又はその他シリアル番号が明示されているものとします）を提出しなければなりません。

本限定保証は、本製品の最初のエンドユーザに対してのみ適用され、その後の購入者／エンドユーザに対して譲渡されず又は移転されません。

本限定保証が適用されない場合とは？

1. 本限定保証は、本製品に含まれているかダウンロードされたかを問わず、また、インストール、アセンブル、出荷、又は流通の過程で含まれたか、その他いかなる方法によってもお客様が入手された取扱説明書、又は第三者ソフトウェア、設定、コンテンツ、データもしくはリンクには適用されません。適用法により許される範囲において、Nokia は、Nokia のソフトウェアがお客様の要件を充足すること、第三者から提供されたハードウェア若しくはソフトウェア・アプリケーションと連携して動作すること、ソフトウェアにエラーがない若しくは動作が中断されないこと、そしてソフトウェアの不具合が修正可能であることや修正されることを保証しません。

2. 本限定保証は、a) 通常の損耗（カメラレンズ、バッテリー又はディスプレイの損耗等を含みます）、b) 輸送費、c) 乱暴な取扱いに起因する不具合（刃物を使用したり、折り曲げ、圧迫し又は落としたこと等に起因する不具合等を含みます）、d)Nokia から出された指示（例：本製品の取扱説明書に記載される指示）に反する使用を含め、本製品の誤用に起因する不具合又は損傷、及び／又は e) その他 Nokia の合理的な管理を超える行為に対して適用されません。
3. 本限定保証は、Nokia により製造、供給又は承認されていない製品、付属品、ソフトウェア及び／又はサービスと共に本製品を使用し又はこれらに本製品を接続したことや、製品の本来の使用目的以外の目的のために本製品を使用したことに起因する不具合（もしくは不具合の主張）には適用されません。お客様又は第三者が、サービス、他人のアカウント、コンピュータ・システム又はネットワークに不正にアクセスした場合、かかる不正アクセスに由来するウィルスのために不具合が生じることもあります。このような不正アクセスは、ハッキング、パスワード探索、又はその他様々な方法により行われることが考えられます。
4. 本限定保証は、電池をショートさせたり、電池カバー若しくは容器のシールが破損され、電池が不正に変更されたことが明らかであったり、又は電池が指定された以外の機器で使用されたことに起因する不具合には適用されません。
5. 承認されたサービスセンター以外により本製品が分解されたり、変更され若しくは修理された場合や、承認されていない予備部品を使用して本製品が修理された場合、又は、本製品のシリアル番号、携帯電話付属品の日付コード又は IMEI 番号がいかなる方法によっても削除され、消去され、汚損され、変更され、若しくは判読不能な場合、本限定保証は適用されません。これらに該当するかどうかは Nokia がその裁量により判断します。
6. 本製品が蒸気、湿気、極端な温度若しくは環境条件、温度若しくは環境条件の急激な変化、腐食作用若しくは酸化作用にさらされ、本製品に飲食物をこぼし、又は本製品に化学品の影響が及んだ場合、本限定保証は適用されません。

その他の重要なお知らせ

SIM カード並びに本製品が動作するセルラーその他のネットワーク又はシステムは、独立した第三者である通信事業者により提供されています。従って、Nokia は、セルラーその他のネットワーク若しくはシステムの動作、利用可能性、受信可能地域、サービス、若しくは範囲について、本保証に基づく責任を負いません。本製品を修理したり交換する前に、通信事業者は、個別のネットワーク又は通信事業者でしか製品を使用できないようにするために加えられた SIM ロック又はその他のロックを解除する必要がある場合があります。従って、Nokia は、通信事業者が SIM ロックその他のロックの解除を遅延したこと又は解除できなかったことにより生じた保証修理の遅延、又はこれにより Nokia が保証修理を完成できなかったことについて責任を負いません。

本製品の修理又は交換の際に、本製品に保存されたコンテンツやデータが失われる可能性がありますので、お客様が保存された重要なコンテンツやデータに関しましては、忘れずに全てバックアップ・コピーや書面による記録を作成してください。Nokia は、下記の「Nokia の責任の制限」という表題の節との整合性を保つ形で、適用ある法律により認められる範囲で、本製品の修理又は交換の際に生じたコンテンツ又はデータの喪失、破損又は変造により生じたいかなる種類の損害又は損失についても、明示的又は黙示的であるとを問わず、いかなる場合も責任を負わないものとします。

Nokia が交換した本製品の全ての部品又はその他の機器は、Nokia の所有物となります。返却された本製品が本限定保証の条項の適用範囲外であることが判明した場合、Nokia 及びその認定サービス会社は、取扱手数料を請求する権利を留保します。本製品を修理又は交換する場合、Nokia は新品あるいは新品と同等、又は再生修理された製品若しくは部品を使用することができます。

お客様の本製品には、ソフトウェアを含め、国特有の要素が含まれる場合があります。本製品が当初の仕向国から別の国へ再輸出された場合、本製品は、本限定保証の下では不具合とみなされていない国特有の要素を含む場合があります。

Nokia の責任の制限

本限定保証は、お客様が Nokia に対して要求できる唯一且つ排他的な救済方法であり、お客様所有の本製品の不具合に関する Nokia の唯一且つ排他的な責任です。但し、本限定保証は、i) 適用される国内強行法規に基づくお客様の法律上の権利、又は ii) 本製品の売主に対するお客様のいかなる権利をも除外又は制限するものではありません。

本限定保証は、口頭、書面、（強行法規ではない）制定法、契約、不法行為又はその他によるとに拘らず、Nokia の全ての保証及び責任に取って代わります。これには、適用法により認められる場合、満足のいく品質又は目的適合性に関する黙示的な保証その他の条件も含みます。適用法により認められる限りにおいて、Nokia は、データの喪失、破損若しくは変造に関する、逸失利益、本製品の使用若しくは機能性の喪失、取引上の損失、契約の損失、収入の損失若しくは期待された節約の損失、経費若しくは費用の増加、又は、間接的、結果的、特別な損失若しくは損害に関する責任を負いません。適用法により認められる限りにおいて、Nokia の責任は、本製品の購入価格を上限とします。これらの制限は、Nokia の過失が立証され、その過失の結果生じたものである限り、死亡又は人身傷害には適用されないものとします。

法律上の義務

本限定保証は、本限定保証に対する、除外、制限若しくは変更できない、又は限られた場合以外、除外、制限若しくは変更できない保証又は条件を包含する法律上の規定に従って解釈されなければなりません。かかる法律上の規定が適用される場合、Nokia に許されている範囲で、かかる規定に基づく Nokia の責任は、その選択により、商品の場合は、商品の交換若しくは同等の商品の提供、商品の修理、商品を交換する若しくは同等の商品を取得する費用の支払、又は商品を修理するための費用の支払、ならびに、サービスの場合は、再度サービスを提供すること又は再度サービスの提供を受けるための費用の支払に制限されます。

注： お客様の本製品は、精巧な電子機器です。Nokia は、本製品と共に提供された、本製品のために若しくは本製品と一緒に提供される取扱説明書及び指示をよくご理解いただくよう強く推奨いたします。又、本製品は高精度ディスプレイ、カメラ・レンズ及びその他の部品を含む場合があり、十分ご注意の上取扱をしない場合、引っかき傷がついたり、又はその他の方法で損傷したりする可能性がありますのでご注意下さい。

保証に関する情報、製品特性及び仕様は全て予告なく変更される場合があります。

フィンランド
FIN-02150 エスポー
ケイララーデンティー 2-4
Nokia Corporation

索引

数字

4 方向ナビゲーションキー 5

C

Caller グループ 19

N

Nokia 連絡先とサポート xi

P

PIN コード x, 3, 24
Pop-Port コネクタ 5
PTT キー 5
  キー 5
PUK コード x

S

SAR の値 41
SIM カードを取り付ける 1
SMS 13
  SMS E-mail 14
  SMS テンプレート 15

T

To-do-list「予定表」を参照

U

UPIN x, 24
UPIN コード 3

あ

アイコン 7
アクセスコード x
アラーム 30
アラームの時刻になると 31
安全性
  安全についての追加情報 38
  ガイドライン vii
  緊急通報 40
  操作環境 38
アンテナ 3
医療機器 38
オーガナイザー 30
お手入れ 37
音の設定 21
音量キー 5

か

概要
  キーと各部の名称 5
  機能 x
カウントダウンタイマー 33
各部の名称 5
壁紙 22
カメラ
  写真撮影 27
  ビデオクリップを録画する 27
画面の設定 22
カレンダー 30
カレンダーノート 31
キー 5
キーガード 7
キーパッドのロック解除 7
キーパッドロック 7
記号 7
ギャラリー 26
共有メモリ ix
緊急通報 40
句読点 11
携帯電話ストラップ 4
言語 10, 11
コード
  PIN x
  PUK x
  UPIN x
  セキュリティ x
  発着信規制パスワード x

さ

サービス
　番号 19
削除
　メッセージ 16
時刻の設定 22
辞書 10
自分の電話番号 19
写真 27
写真撮影 27
終了キー 5
受話口 5
省電力画面 6
使用方法 12
証明情報 - 携帯電話機の比吸収率（SAR）41
ショートカット 6, 21
　個人用リスト 6
　待受モードにおける 6
初期設定 25
スクリーンセーバー 6
スクロールキー「ナビゲーションキー」を参照
ストップウォッチ 32
ストラップ 4
スピーカー 5, 9
製造者による限定保証 42
赤外線
　ポート 5
セキュリティ
　コード x
　設定 24
設定 21
　音の設定 21
　画面 22
　時刻 22
　ショートカット 21
　初期設定に戻す 25
　電話機の設定 23
　時計 22
　発着信の設定 23
　日付 22
　プロファイル 21
　マイショートカット 21
選択キー 5, 6
操作環境 38

た

着信音 8, 19, 21
着信電話 20
通常文字入力 10, 11
通話
　応答する 8
　応答を拒否する 8
　かける 8
　国際 8
　通話中のオプション 9
　通話履歴 20
　割込通話 9
　ワンタッチダイヤル 8
通話キー 5
通話機能 8
通話時間 20
通話料金 20
通話履歴 20
通話を終了する 8
電源キー 5
電源を入れる / 切る 3
電卓 32
電池 34
電池について
　型番 34
電池パック
　充電する 2
　電池の残量 6
　取り付ける 1
電池を充電する 2
電波の強さ 6
テンプレート 15
電話機
　お手入れ 37
　メンテナンス 37
電話機の設定 23
電話帳 17

電話のロック「キーパッドロック」
を参照
電話を個人用に調整する 21
特殊文字 11
時計の設定 22
取り付ける
SIM カード 1
電池パック 1

な

ナビゲーションキー 5
名前 「連絡先」を参照
入力する言語 10
ネットワーク
EGSM viii
GSM viii
サービス ix
表示される名前 6
ノート 32
乗り物 39

は

バイブレータ 21
爆発の危険がある場所 39
発着信規制パスワード x
発着信の設定 23
発着信履歴 20
ハンズフリー「スピーカー」を
参照
日付の設定 22
ビデオクリップ 27
フォルダ
受信ボックス 15
送信したアイテム 15
送信ボックス 15
保存したアイテム 15
不在着信 20
プッシュトゥートーク「PTT」を
参照
プロファイル 21
ペースメーカー 38
ヘルプテキスト 24
ボイスダイヤルキー 5
補聴器 39

ま

マイショートカット 21
待受モード 6
メッセージの文字数の表示 14
メディア
カメラ 27
ラジオ 27
レコーダー 29
メニュー 12
メモリ
SIM 17
コピー 18
状態 19
ステータス 23
選択する 19
不足 14, 15
容量 26
メンテナンス xi, 37
文字メッセージ 13
文字メッセージを入力する 14
文字を入力する 10

や

予測文字入力 10
予定表 31

ら

ラジオ 27
履歴 20
留守番電話サービス 16
レコーダー 29
連絡先
Caller グループ 19
検索する 17
コピー 18
サービス番号 19
削除 18
自分の電話番号 19
詳細情報の編集 18

設定 19
保存 17
ワンタッチダイヤル 19

わ

割込通話 9
ワンタッチダイヤル 8, 19, 23

購入情報

購入日：

下のスペースにシリアルステッカー（梱包箱外側に貼付）を貼って、安全な場所に保存してください。

販売店署名およびスタンプ

お問い合わせ先：ハローノキア　0570-0-66542